

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

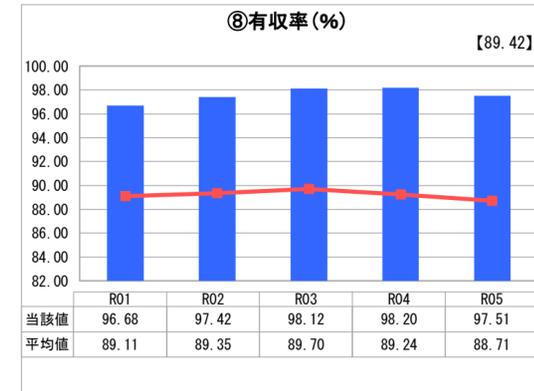
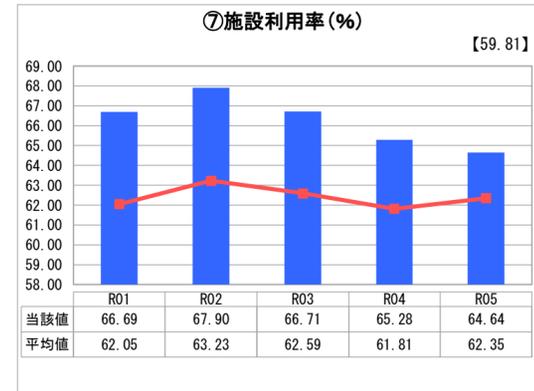
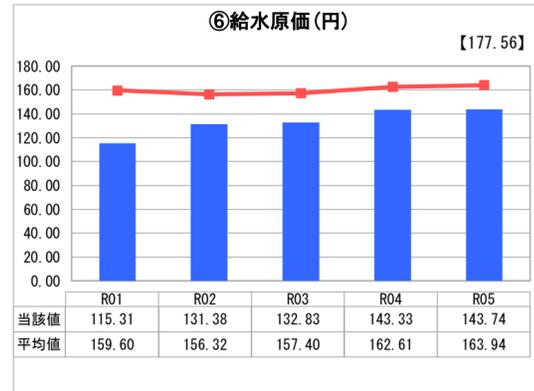
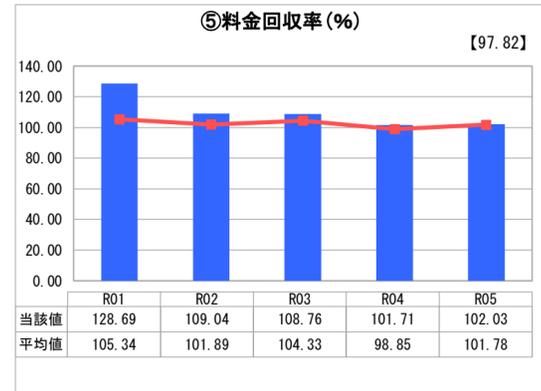
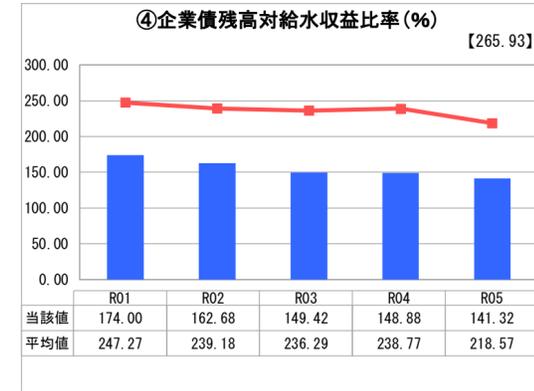
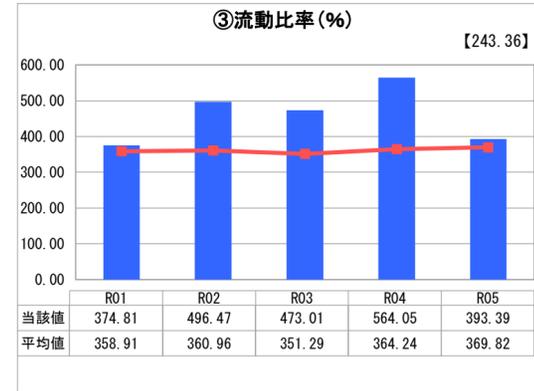
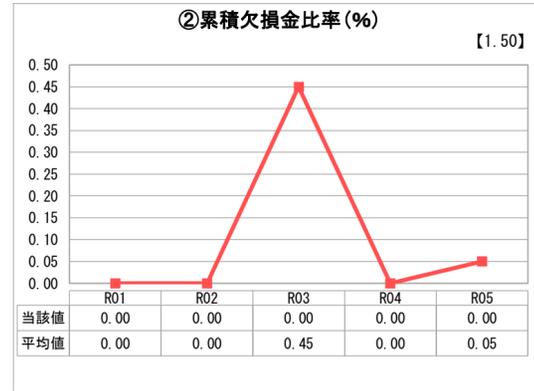
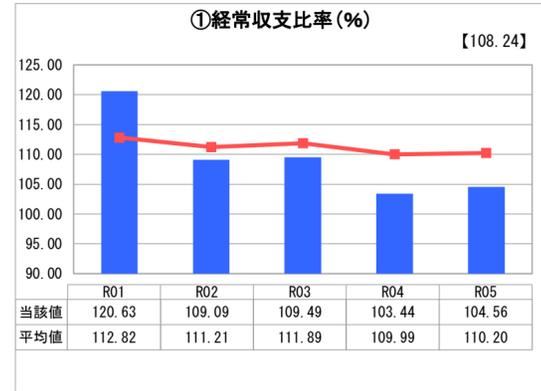
千葉県 習志野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	86.62	99.05	2,101	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
174,963	20.97	8,343.49
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
110,244	12.04	9,156.48

<b>グラフ凡例</b>
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

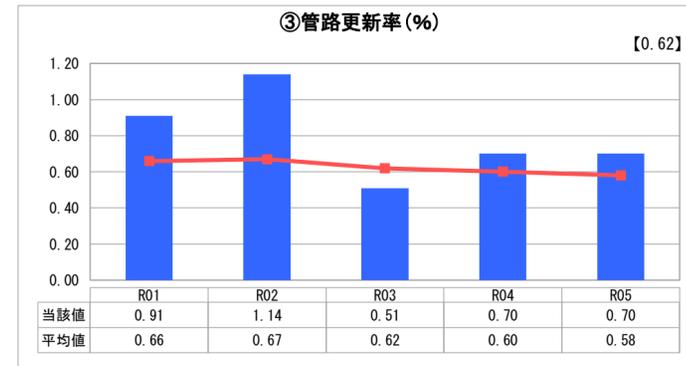
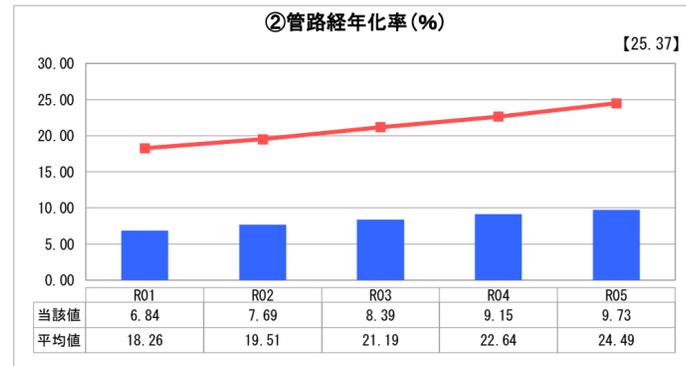
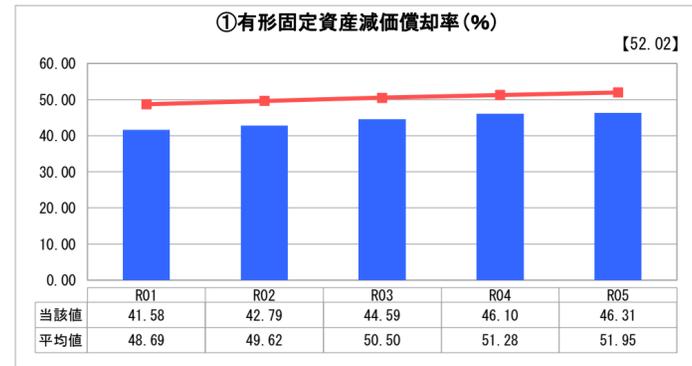
### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率  
100%を超えています。今後も施設の更新等による費用の増加が想定されるため、引き続き、費用の縮減及び水道料金水準の適正化などの取組が必要です。
- ② 累積欠損金比率  
累積欠損金は、生じていないため、過度な経営状況の悪化は見られません。
- ③ 流動比率  
100%を超えており、短期的な債務に対する支払能力を有しています。
- ④ 企業債残高対給水収益比率  
類似団体と比較し良好と言えますが、今後上昇が見込まれるため、注視が必要です。
- ⑤ 料金回収率  
100%を超えており、給水に係る費用を給水収益で賄えています。減少傾向にある上、将来の施設更新財源を確保するには十分とは言えません。今後、水道料金改定を実施することで数値は改善する見通しです。
- ⑥ 給水原価  
類似団体と比較し低く推移していますが、一定の固定費がある中、有収水量が減少傾向のため、数値は増加傾向となっており注視が必要です。
- ⑦ 施設利用率  
類似団体と比較し良好ですが、有収水量が減少傾向にあるため、施設のダウンサイジングを行うことで、将来的な改善を見込んでいます。
- ⑧ 有収率  
類似団体と比べ良好であり、適切な漏水対策を講じていると言えます。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率・② 管路経年化率  
有形固定資産減価償却率および管路経年化率は、類似団体と比較し良好であり、老朽化度合いは高くはないと言えます。
- ③ 管路更新率  
類似団体と比較し良好ですが、更新ペースを伸ばし、さらに数値を改善することが望ましいです。一方で、更新費用などには限りがあるため、更新ペースを維持しつつ、優先順位の高い管路から計画的に更新を実施し、安定給水の確保に努めます。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

健全性・効率性については、特に累積欠損金比率、企業債残高対給水収益比率、管路経年化率等の項目において、類似団体と比較して良好な数値となっています。一方で、今後、施設更新等による費用の増加及び有収水量の減少が見込まれるため、水道料金水準の適正化を図る中で引き続き健全性の確保に努めます。施設については、老朽化が進行していることから、計画的な更新の実施が必要です。